

## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス  
 コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	16,208	4.1	3,329	20.0	3,356	18.7	1,180	37.7
2022年9月期第1四半期	15,571	—	2,773	—	2,828	—	856	—

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 1,168百万円( 6.3%) 2022年9月期第1四半期 1,098百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	34.56	—
2022年9月期第1四半期	25.09	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年9月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	71,865	46,209	63.8
2022年9月期	76,781	52,384	67.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 45,845百万円 2022年9月期 52,055百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	215.00	215.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	0.00	—	215.00	215.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	0円 銭
第2四半期(累計)	30,200	0.1	5,300	1.3	5,400	1.4	2,400	△19.5	70.27
通期	61,600	0.7	10,700	5.8	10,900	4.7	7,700	1.5	225.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	34,156,623株	2022年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	270株	2022年9月期	270株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	34,156,353株	2022年9月期1Q	34,156,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	15,571	100.0	16,208	100.0	636	4.1
化粧品事業	12,754	81.9	13,086	80.7	331	2.6
医薬・食品事業	2,627	16.9	2,788	17.2	160	6.1
その他の事業	189	1.2	332	2.1	143	75.7

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	2,773	17.8	3,329	20.5	555	20.0
経常利益	2,828	18.2	3,356	20.7	527	18.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	856	5.5	1,180	7.3	323	37.7

当第1四半期連結累計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）における景気の動向は、緩やかに持ち直しの動きがみられたものの、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高16,208百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益3,329百万円（同20.0%増）、経常利益3,356百万円（同18.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,180百万円（同37.7%増）となりました。

化粧品事業は、売上高13,086百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益3,457百万円（同15.2%増）となりました。

医薬・食品事業は、売上高2,788百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益407百万円（同11.7%増）となりました。

その他の事業は、売上高332百万円（前年同期比75.7%増）、セグメント利益49百万円（同109.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,916百万円減少し、71,865百万円となりました。主に、現金及び預金が5,603百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,258百万円増加し、25,655百万円となりました。主に、流動負債（その他）が1,101百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,175百万円減少し、46,209百万円となりました。主に、前期末配当7,343百万円による減少と、親会社株主に帰属する四半期純利益1,180百万円により、利益剰余金が6,163百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は63.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,603百万円減少し、23,927百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2,163百万円（前年同期比124百万円の収入減）となりました。主に、増加要因として、税金等調整前四半期純利益3,356百万円、減少要因として、売上債権の増加1,049百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は318百万円（前年同期比30百万円の支出増）となりました。主に、無形固定資産の取得による支出164百万円、有形固定資産の取得による支出154百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は7,298百万円（前年同期比163百万円の支出増）となりました。主に、配当金の支払7,270百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年11月10日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,747	24,144
受取手形及び売掛金	8,970	9,996
商品及び製品	6,242	6,667
仕掛品	140	109
原材料及び貯蔵品	1,467	1,457
未収入金	3,391	2,548
その他	617	623
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	50,569	45,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,106	5,082
機械装置及び運搬具（純額）	784	673
土地	13,554	13,554
リース資産（純額）	928	905
建設仮勘定	123	140
その他（純額）	195	186
有形固定資産合計	20,692	20,543
無形固定資産		
のれん	209	201
ソフトウェア	119	109
その他	90	289
無形固定資産合計	418	600
投資その他の資産		
投資有価証券	2,132	2,324
繰延税金資産	1,729	1,646
その他	1,257	1,228
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	5,100	5,179
固定資産合計	26,212	26,323
資産合計	76,781	71,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,935	2,762
リース債務	93	86
未払金	3,197	3,359
未払法人税等	1,085	1,378
賞与引当金	101	58
その他	2,239	3,340
流動負債合計	9,653	10,985
固定負債		
リース債務	912	892
長期預り保証金	12,001	11,896
繰延税金負債	311	394
退職給付に係る負債	514	518
その他	1,003	967
固定負債合計	14,743	14,670
負債合計	24,397	25,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	42,982	36,819
自己株式	△1	△1
株主資本合計	50,300	44,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,278	1,410
為替換算調整勘定	486	305
退職給付に係る調整累計額	△8	△7
その他の包括利益累計額合計	1,755	1,708
非支配株主持分	328	363
純資産合計	52,384	46,209
負債純資産合計	76,781	71,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	15,571	16,208
売上原価	4,551	4,837
売上総利益	11,020	11,370
販売費及び一般管理費	8,247	8,041
営業利益	2,773	3,329
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	8	11
為替差益	16	—
その他	28	37
営業外収益合計	55	53
営業外費用		
為替差損	—	26
その他	0	0
営業外費用合計	0	26
経常利益	2,828	3,356
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	2,824	3,356
法人税、住民税及び事業税	1,724	2,010
法人税等調整額	212	107
法人税等合計	1,937	2,117
四半期純利益	887	1,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	856	1,180



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	887	1,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	131
為替換算調整勘定	96	△203
退職給付に係る調整額	7	0
その他の包括利益合計	210	△71
四半期包括利益	1,098	1,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,053	1,133
非支配株主に係る四半期包括利益	45	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,824	3,356
減価償却費	344	273
のれん償却額	7	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△43
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△46	4
退職給付制度移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	—	△42
受取利息及び受取配当金	△10	△16
為替差損益 (△は益)	△3	8
固定資産除売却損益 (△は益)	4	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△667	△1,049
棚卸資産の増減額 (△は増加)	161	△459
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24	△151
預り保証金の増減額 (△は減少)	△111	△105
その他	1,670	1,323
小計	4,102	3,104
利息及び配当金の受取額	8	15
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,823	△955
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,288	2,163
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14	△14
定期預金の払戻による収入	14	14
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△266	△154
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△25	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288	△318
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△7,107	△7,270
その他	△28	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,135	△7,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	72	△149
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,063	△5,603
現金及び現金同等物の期首残高	30,841	29,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,777	23,927

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している一部の在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「無形固定資産」の「その他」が34百万円、「流動負債」の「その他」が16百万円、「固定負債」の「その他」が18百万円それぞれ増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	12,754	2,627	166	15,548	—	15,548
その他の収益	—	—	23	23	—	23
外部顧客への売上高	12,754	2,627	189	15,571	—	15,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	65	65	△65	—
計	12,754	2,627	255	15,637	△65	15,571
セグメント利益	3,000	365	23	3,389	△616	2,773

(注) 1 セグメント利益の調整額△616百万円の内訳は、セグメント間取引消去129百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△745百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
顧客との契約から生じる収益	13,086	2,788	312	16,187	—	16,187
その他の収益	—	—	20	20	—	20
外部顧客への売上高	13,086	2,788	332	16,208	—	16,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	69	69	△69	—
計	13,086	2,788	402	16,277	△69	16,208
セグメント利益	3,457	407	49	3,914	△585	3,329

(注) 1 セグメント利益の調整額△585百万円の内訳は、セグメント間取引消去131百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△716百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。